

久々利ふるさとマップ



マップで
確かめよう!!
久々利の
自慢と誇り

各項の【アルファベット-数字】は、
地図の横位置・縦位置(座標)を表します。



久々利地区

久々利は、可児市の東端に位置し、面積は18.9 km²、可児市全体の約20%、全14地区の中で最大ですが、その多くは山林です。この山間から流れ出る久々利川、その中・下流域には田園地帯が広がる自然豊かな中山間地域です。

久々利地区には、大平、大萱、丸山、元久々利、原見、平柴、我田、酒井、川原田、柿下、小滝苑の11の集落があり、それぞれ独自のコミュニティを形成しながら、一方では久々利全体としてのコミュニティも形成しています。

また、可児市最古の地名は「久々利」です。西暦677年のものと推定される奈良県飛鳥池遺跡から出土した木簡(木の札)に「加尔(かに)」「久々利」という記述があることから、今から1300年以上前からこの地が、この地名で存在したことになります。また、日本書紀や万葉集の中にも「区玖利」「八十一隣」という記述が見られます。

五十七年九月次米三野
物古麻里
加下洋季利子
木簡(レプリカ)
可児市のじまんとほこり2022.3より転載

久々利は、このように自然資産、歴史資産、文化資産等々が豊かです。マップをながめながら、久々利を見直し、活気あるコミュニティ作りをしてはかがでしょうか。

「久々利ふるさとマップ」は、久々利川を共に享受し古来から関係の深い平牧地区の一部も掲載しています。

単位	可児市	久々利地区	
		実数	14地区内順位
面積	87.6 km ²	18.9	1位
人口	100,297人	1,581	13位
人口密度	1,145人/km ²	84	14位
世帯数	43,930世帯	665	13位

「令和5年可児市統計」より

ページ配置図(目次配置図)

●「久々利ふるさとマップ」表紙	●久々利の旧字名と概要	●久々利及び周辺の施設	●久々利の人々と地域活動
●久々利及び周辺の神社・仏閣	●久々利の歴史物語	●久々利及び周辺の行事と伝承 ●久々利及び周辺の史跡と墳墓	●久々利の歴史年表 ●久々利の歴史秘話